

ぐんま教師塾の1年を振り返って

義務教育研究グループ 小学校社会科3・4年班

安中市立東横野小学校 大山 政人

桐生市立南小学校 金井 仁史

沼田市立薄根小学校 河合 潔

班別研修に対する所感

- ビデオでの研修によって、改めて自分の課題が明確になった。
- 他の先生の授業を見ることは、学ぶべき点が多く、それを自分の授業に活かすことができた。
- グループでの協議では、遠慮せずに個々の意見や考えをぶつけることができ、充実した時間を持つことができた。
- 一つの単元にじっくりと時間をかけて深く検討することができ、授業改善に役立てることができた。



多彩な講師陣による講義や講話に対する所感

- 他の分野から来ていただいた方の講義はとても新鮮で、授業はこれのためにいい、どんな力をつけるのかということをもっと自分に問い直し、忘れかけていた初心を思い出すことができた。
- 当たり前だと思っていることに対して疑問をもったり、意識をしたりすることの大切さを感じた。
- 児童のその時の心を感じ取り、必要としている言葉かけをしていくことが今の児童には必要であることを再確認した。



授業参観協力校等での授業参観に対する所感

- 授業の雰囲気作りや資料提示など、導入の工夫の大切さを感じた。
- 話し合いの場面では、いろいろな工夫がされていて授業作りの参考になった。
- 児童同士の思いを自由に交流させるために使われた構成的グループエンカウンターやロールプレイ等は、自分たちの授業にも活かしていきたい手法であった。



授業実践とその参観に対する所感

- 児童自身が実際に見たり、聞いたりしたことをもとに課題をつくることの大切さを学んだ。
- 児童に意欲的な取り組みをさせるためには、児童の実態や生活を考慮し、資料をねらいに適したものにする工夫が大切であると感じた。
- 活発に交流し合うためには、視点を明確にした発問や指示の徹底をし、自分なりの考えをもって話し合いに参加させることが必要であると実感した。

